

令和 7 年 7 月 24 日（木）ウェルビーイング講演会「ウェルビーイングを考える：UNRWA・ガザ地区の現状報告を踏まえて2」を ZOOM 開催しました。

ライブへのお申込みは 242 名に上り、途中の出入りはあったものの、講演終了時点では 173 名の方がカメラをオンにして、清田先生へ感謝の意を伝える場面が見られました。この後、医学部の授業でオンデマンド視聴が行われます。

さて、昨年の講演会の時期に比べても、ガザにおける破壊の規模や、子どもたちの栄養失調の状況がさらに悪化している様子がうかがえました。そうしたなかでも、「今日は空爆の恐れがないから」と、一張羅に身を包み保健センターへポリオワクチンの経口摂取に向かう人々の姿に、緊張感の中に垣間見えるささやかな日常の営みに慰められる思いがしました。

また、参加した学生から清田先生のキャリアに関する質問がありました。先生は、医学部卒業後、在日米軍横須賀基地の病院でインターンを経験され、その後、結核予防会に入職。さらに、JICA のプロジェクトで訪れたイエメンでは、泥にまみれて奮闘した経験や失敗が、現在の活動に活かしていると語られました。とりわけ、国際協力の現場では多層的な課題が存在する中で、複雑な状況から「もっとも重要なこと」をいかに見極め、抽出するかが極めて重要であるというお話に、多くの方が深く頷かれていました。

最後に清田先生は、「希望は常に人々の心の中に宿っており、状況が厳しいときには冬眠しているようなもの。でも、社会が健康を取り戻せば、人々のウェルビーイングも回復する。だからこそ、社会の健康を取り戻す活動を続けていきたい」と力強く語られました。

清田先生、貴重なお話を本当にありがとうございました。

（モデレータ：高知大学 廣瀬淳一）



令和7年度ウェルビーイング講演会①

「ウェルビーイングを考える： UNRWA・ガザ地区の 現状報告を踏まえて2」

令和7年7月24日(木)

14時50分～16時20分

(本講演会は、共通教育科目「国際ボランティア概論」、
医学科「国際医療(2年次)」の一環として実施しますが、
学内教職員の方、一般の方などどなたでも参加可能です。)

Zoom 開催(参加費無料)

以下 QR コードから
事前申込みをお願いいたします

SEITA AKIHIRO

講師

清田 明宏 氏

1961 年生まれ。高知医科大学(現・高知大学医学部)
卒業。結核予防会・結核研究所に当初勤務。国際協力機
構(JICA)でイエメン結核対策プロジェクトに取り組む。
その後、世界保健機関(WHO)に入り、中近東の結核対
策、三大感染症の責任者となる。2010 年より国連パレスチ
ナ難民救済事業機関(UNRWA)の保健局長に就任。
3,100 人の保健医療スタッフをまとめる。2015 年第 18
回秩父宮妃記念結核予防国際協力功労賞受賞。



＼Zoom 参加申込はこちらからどうぞ／



お申し込み後、登録完了メールが自動返信されます。
開催日の 2 日前までに、ご登録いただいたメールアドレスに Zoom 情報、Web アンケート URL が送信されま
すので、入力にお間違いのないようお申し込みください。

※注)お申し込み後に返信メールが届かない場合は、登録
メールアドレスをご確認の上、再度お申込みください。